

令和5年度 第1回浜田市下水道審議会 会議録

日時：令和5年10月13日(金)14時55分～16時10分

会場：市役所本庁舎 5階 議会全員協議会室

1 開会について（水道管理課長）

令和5年度第1回目の浜田市下水道審議会の開催について宣言

2 上下水道部長あいさつ

・本日の会議においては、令和4年度の下水道事業の決算状況についてご説明し、決算数値の前年度対比の推移、各種の経営指標、経営戦略に対する進捗状況についてお示ししたいと考えております。また、浜田処理区の下水道整備事業の進捗についてもご報告をさせていただく予定としております。

・本市の下水道事業は、令和6年4月にすべての会計を公営企業会計へ移行する予定で現在準備を進めています。

・現在、物価の高騰、人口の減少、施設の更新需要の高まりなど諸課題への対応が、下水道事業についても求められています。

そうした中、今月から、上下水道料金の徴収一元化を実施するなど、経費削減や事務の効率化に取り組んでいます。

本日は委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

3 委員の交代について

JAしまね いわみ中央地区本部女性部の徳田委員が本年3月31日付で退任され、後任として猪俣委員が就任。

4 浜田市下水道審議会について（水道管理課長）

本日の出席委員は、委員数13名中9名となり、浜田市附属機関設置条例第2条に定める定数に達しており、審議会は成立。

5 議事 「令和4年度 浜田市公共下水道事業会計決算」

水道管理課企画経理係専門企画員より配布資料に基づき説明後、以下の質問がある。

官本委員

資料1について、貸借対照表で流動資産が前年度に比べて大きくマイナスになっているところと、資本金がプラスになっているところの理由を教えてください。

専門企画員

流動資産が減少している理由は、前年度に予定していた建設改良事業が、事業の進捗状況等により繰越となりましたが、その財源として必要な出資金は前年度中に取得していたことによるものです。

資本金については、建設改良事業や企業債の償還のための資本金を、令和4年度で受け入れたことによる増です。

宮本委員

資料3の接続人口の推移のグラフについて、減少傾向の見込みだが、令和8年度だけが上がっています。この根拠を教えてください。

専門企画員

現在整備を進めている浜田処理区整備事業が令和8年度中に供用開始になるということを見込んで増としています。

渡辺委員

資料1の特別利益について、令和3年度の4,351千円は消費税還付金ということだが、どのような時に発生するのですか。

専門企画員

こちらは過年度に申告していた消費税の還付金です。

消費税が平成26年度に5%から8%に改定になった関係で、消費税率が5%時代に建設改良を行ったものの財源として借入れた起債の返済を、平成26年以降にしたものについて、8%で計算して申告をしていたということがわかったため、税務署に相談し、更正の請求という形で手続きをしました。このことにより平成28年度からの消費税が返ってきたという特殊事情があります。

三浦委員

資料2で経費回収率について説明がありましたが、回収率を100%にするには使用料を上げることになるのですか。それとも、汚水処理費を下げるのが可能な技術があるのでしょうか。また、漁業集落排水事業で福浦古湊の施設が公共下水道になったと説明がありましたが、これまではその施設は、違う会計で処理されていたということですか。

専門企画員

経費回収率を100%にするためには、先ほどおっしゃられましたように、下水道使用料が上がるかそれとも汚水処理費が下がるか、もしくはどちらもということが必要にな

ります。経費回収率については、現在6割程度になっていますが、今後施設の見直し等、経費の削減にも取り組みながら、使用料水準の検証と適正化に向けて取り組みを進めなければいけないと思っています。

漁業集落排水事業については、浜田市の特別会計である漁業集落排水事業特別会計の中に、福浦と古湊という地区がありました。こちらを公営企業会計の施設の方に接続して移行したということです。

三浦委員

経費回収率のところで、やはりもう将来的には使用料を上げる方向ということですか。また、汚水処理費について、施設の最新の技術を導入し下げることが可能ということですか。

下水道課長

収入の方についてですが、現在整備を行っている市街地の公共下水道の収入等も見ながら、先ほど回答した料金の適正性も検証していきたいと考えています。

汚水処理費をどうやって落としていくかについては、おっしゃられた省エネ等も一つの手だと思っています。もう一方で、先ほどの漁業集落排水事業の公共下水道事業への統合等、処理を効率的にして経費回収率を上げる方法もあるかと思います。

三浦委員

汚水処理費に、肥料の無料配布に係る汚泥の処理費用は含まれているということでしょうか。

下水道課長

はい。肥料化にかかる費用も入っています。

三浦委員

肥料法をご存じで、検査されて配布されていると思うが、受け取られる市民の方に成分分析の情報を提供されて、納得してもらっていますか。

下水道課長

肥料配布にあたっては成分分析等の資料も提示しながらお渡ししています。

- 6 報告事項1 「浜田処理区下水道マンホール蓋デザイン募集について」
- 報告事項2 「浜田処理区下水道整備事業について」
- 報告事項3 「浜田処理区下水道整備事業説明会の開催状況について」

報告事項 4 「浜田処理区下水道整備事業について」

報告事項 5 「令和 5 年度公共下水道事業会計補正予算（第 1 号）説明資料」

下水道課長よりそれぞれその他資料①、②、③、④、⑤に基づき説明後、以下の質問がある。

鈴木委員

その他資料 2 の発注方式について、従来発注方式よりも DB 方式、DB 方式より E C I 方式の方がより民間寄りの手法を活用するという認識だと思うが、民間寄りになることで市の意向と隔たりに出ないよう、市の意向を伝え、汲み取っていただくような工夫も必要だと思うが、どのような工夫をされる予定か聞かせてほしい。

下水道課長

言われる通り、民間寄りになれば市の意向が伝わりにくいというような状況が起きる可能性があります。民間事業者と進捗に合わせた会議の場を設け、こちらの思いもしっかり伝えていきたい。

田村委員

その他資料の 3 について、事業説明会の開催状況を見ると、参加者がまだまだと思います。参加率を高めることは、今後の経営にも影響してくるので、毎年積み重ねていきたいです。

またその他資料 4 について、物価上昇及び機器費高騰により増額になったということが書いてありますが、処理場の建設費についてのみで、管渠整備については影響はなかったのですか。

下水道課長

事業説明会については、しっかり対応させていただきたいと思います。

管路工事につきましても物価高騰はありました。昨年度、管路工事の概算事業費を報告させていただいた際に物価上昇率を加味しており、事業者を選定したところです。こちらの資料は昨年度すでに物価上昇を見込んだ金額で示しているため、差額 0 として表記しています。

三浦委員

その他資料 3 について、主な意見の中で、接続工事費についてのものがありました。浜田市はそうしたものへの支援は考えているのですか。

またその他資料 4 の 4 ページに使用料改定の対象地域として既に考えておられるような資料がありますが、令和 8 年度から改定をする予定なのですか。

下水道課長

まずその他資料3の接続工事費の補助についてですが、説明会等でこれまでも様々なご意見をいただいております。

まだ具体的な内容は決まっていますが、接続率の向上に向けた取り組みは必要と認識しているので、検討して参りたいと考えています。

またその他資料4の4ページのところについてです。こちらはモデルケースとして試算した場合の資料ですので、具体的にいつ何をしてというようなものではありません。

こういった改定率にしていくと、シミュレーション上こう変わっていくというモデルケースを示したもので、決してこれで料金改定しますというものではありません。ただ検証していくことが必要という認識ではおります。

三浦委員

これは単なるモデルケースと言いながら、この会で既に数字を出して、公表しています。このことが既定路線として捉えられるのではないかと思うので、この資料の出し方をちょっと考えてほしいと思いました。

下水道課長

こちらは昨年度に議会に報告した資料をもとにして、今回報告させていただきました。ご指摘のような、資料の見せ方というものも再度検討しながら資料の作り方は考えていきたいと思っております。

鈴木委員

同じくその他資料4の4ページのところで、あくまでモデルケースだと思うが、整備した後の費用の回収に大きく関係してくると思われる、浜田処理区の接続率の推計はどのような形で行われたのかを教えてください。

下水道課長

4ページの棒グラフが浜田処理区、折れ線グラフが国府と美川地区という既存の地区になっています。浜田処理区について、まず公共施設等の接続見込について1年目～3年目までのところで接続して4年目に上がっていくというような見込みを立てています。

それ以降、主には戸建ての住宅等が対象になると思いますが、そういったところは既存の美川、国府地区を参考にしながら伸び率を考え、推計を立てました。

7 その他

今後の審議会についてご連絡をいたします。

下水道の各事業が令和6年4月に公営企業に移行します。

委員の皆様方からも今までご意見をいただいております通り、水道事業審議会と下水道審議会を統合し、「上下水道事業審議会」とします。

つきましては年末頃皆様方の所属団体、組織に対し、統合後の審議会委員への就任について、改めてお願いさせていただく予定にしています。

また統合後の審議会は令和6年4月に開催を予定しており、内容としては令和6年度の予算について報告を予定しておりますので、よろしくお願いたします。